



“地域のことは地域で考えよう”

〒900-0013 那覇市牧志1丁目3番45号、3階 電話 (098) 869-8711

各 位

2022年4月28日

株式会社 おきぎん 経済研究所

おきぎん県内景況・速報（2022年3月分）

◎ 県内景況は、新型コロナウイルス感染症の影響により厳しい状況が続くものの、持ち直しの動きがみられる。

☆ 個人消費：スーパー売上高は全店ベース、既存店ベース共に前年同月を上回る。

百貨店売上高は前年同月を上回る。

家電卸出荷額は前年同月を下回り、新車販売台数も下回る。

☆ 建設関連：公共工事請負金額は前年同月を上回る。

生コンは前年同月を上回り、セメントは下回る。

☆ 観光関連：入域観光客数は前年同月を上回り、観光施設入場者数も上回る。

ホテル稼働率は、シティホテル、リゾートホテル、ビジネスホテルのすべてで前年同月を上回る。ホテル客室単価、宿泊収入(推計値)においても前年同月を上回る。

☆ 企業倒産：件数は前年同月を上回り、負債総額は下回る。

※ お気づきの点、不明な点などがございましたら、下記までご連絡ください。

[担当]：新垣、中江、小嶺 [連絡先] 電話：098-869-8711 ファクシミリ：098-869-2200

現場主義とお客さまからの信頼

おきぎん県内景況・速報(2022年3月分)

◎2022年3月 おきぎん「カトリア」景況図



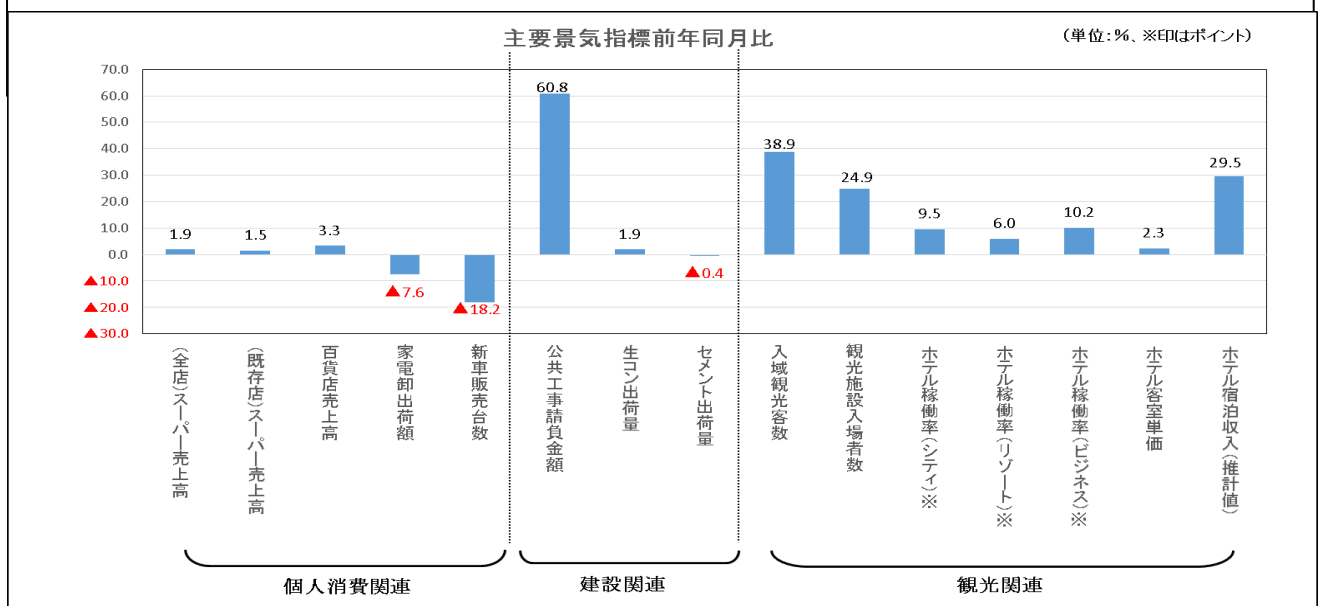
◎概況：県内景況は、新型コロナウイルス感染症の影響により厳しい状況が続くものの、持ち直しの動きがみられる。

3月の県内景況は、個人消費関連では、スーパー売上高は、全店ベース、既存店ベース共に前年同月を上回りました。百貨店売上高は、前年同月を上回りました。耐久消費財である家電卸出荷額は前年同月を下回り、新車販売台数も前年同月を下回りました。

建設関連では、公共工事請負金額は前年同月を上回りました。建設資材である生コンは前年同月を上回り、セメントは前年同月を下回りました。

観光関連では、入域観光客数は前年同月を上回り、観光施設入場者数も前年同月を上回りました。ホテル稼働率はシティホテル、リゾートホテル、ビジネスホテルのすべてにおいて、前年同月を上回りました。ホテル客室単価、宿泊収入(推計値)においても前年同月を上回りました。コロナウイルスの影響により2019年同月比では厳しい状況が続いているものの、持ち直しの動きがみられます。

このような状況に鑑みて、個人消費は一部で持ち直しの動きがあるものの、耐久消費財の供給制限などにより弱さが見られ、建設関連は民間工事に弱い動きが続いています。観光関連は、新型コロナウイルスの感染拡大により厳しい状況が続く中、持ち直しの動きがみられます。よって、「県内景況は、新型コロナウイルス感染症の影響により厳しい状況が続くものの、持ち直しの動きがみられる」と景気判断を引き上げました。(上方修正)



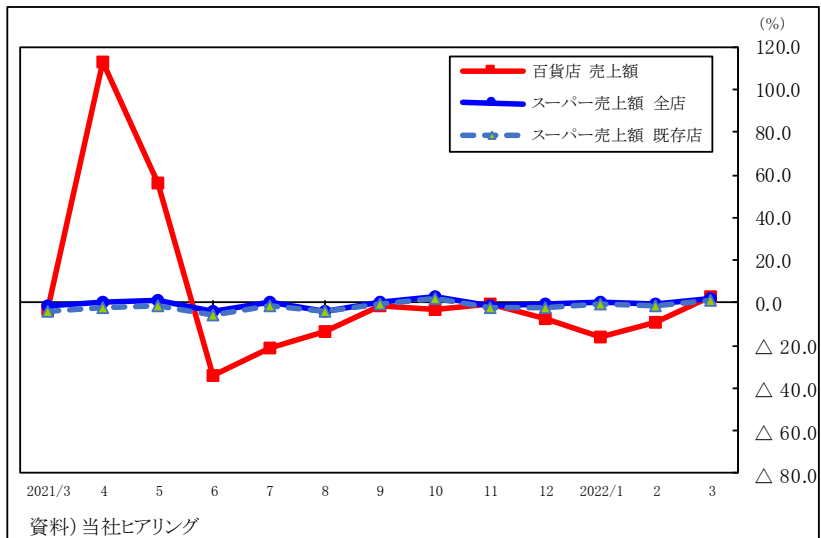


■個人消費： (やや悪い)

① スーパー売上高は、全店ベース、既存店ベース共に前年同月を上回る。百貨店売上高は、前年同月を上回る。

単位：%

	スーパー売上額		百貨店 売上額
	全店	既存店	
2021/3	△ 1.7	△ 3.7	△ 3.5
4	0.2	△ 1.9	113.0
5	1.0	△ 1.0	56.4
6	△ 4.1	△ 5.6	△ 34.3
7	0.7	△ 1.3	△ 20.8
8	△ 3.6	△ 3.8	△ 13.7
9	0.0	△ 0.5	△ 1.2
10	2.9	2.3	△ 3.0
11	△ 1.0	△ 2.0	△ 0.5
12	△ 0.9	△ 1.9	△ 7.2
2022/1	0.7	△ 0.2	△ 16.3
2	△ 0.3	△ 1.2	△ 9.3
3	1.9	1.5	3.3



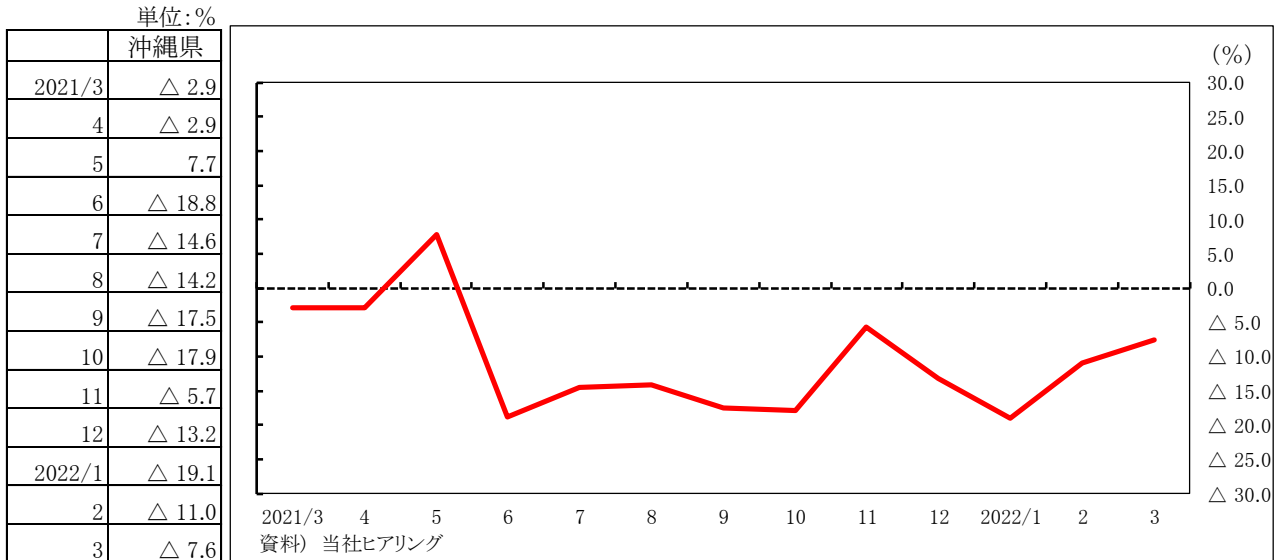
注) 前年同月比

3月の個人消費関連では、スーパー売上高「全店ベース(前年同月比 1.9%増)」は、2ヵ月ぶりに前年同月を上回りました。品目別では、「食料品(同 3.1%増)」は内食需要が堅調だったことなどから前年同月を上回りました。「衣料品(同 7.4%減)」については、上旬から中旬にかけて気温が下がり、春夏物の売上げが伸び悩んだことなどにより、前年同月を下回りました。

「既存店ベース(同 1.5%増)」は、5ヵ月ぶりに前年同月を上回りました。品目別では、ウェイトの高い「食料品(同 2.6%増)」は、内食需要の継続などにより前年同月を上回りました。「衣料品(同 8.7%減)」は天候要因などにより前年同月を下回りました。「家庭用品(同 0.1%減)」は、前年同月を下回りました。

百貨店売上高は、前年同月を上回りました(同 3.3%増)。内訳をみるとウェイトの高い、「食料品(同 7.6%増)」は、ギフト商品の好調や催事開催により客足が増加したことなどにより前年同月を上回りました。「身廻品(同 3.9%増)」、「家庭用品(同 7.9%増)」は、ギフト商品の好調などにより前年同月を上回りました。「衣料品(同 4.5%減)」、「雑貨(同 5.7%減)」は前年を下回ったものの、全体としては10ヵ月ぶりに前年同月を上回りました。

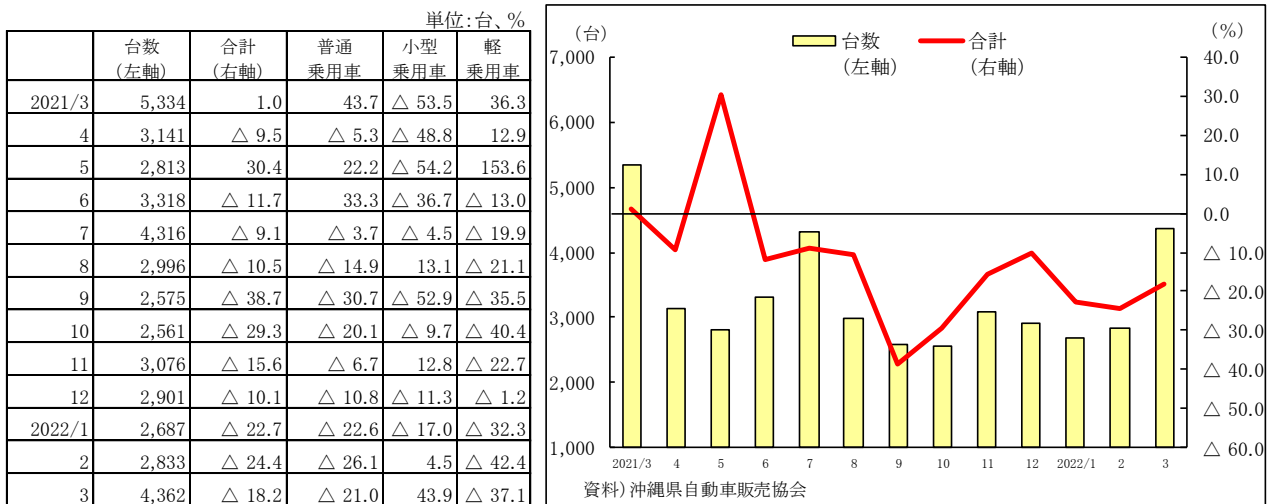
② 家電卸出荷額…家電卸出荷額は前年同月を下回る。



注) 前年同月比

家電卸出荷額は、10ヵ月連続で前年同月を下回りました(同 7.6%減)。品目別では、「レンジ(同 20.1%増)」は前年同月を上回りました。一方、「洗濯機(同 15.4%減)」、「エアコン(同 7.4%減)」、「冷蔵庫(同 10.9%減)」は半導体不足に起因する品薄状態が続いていることや小売店での客足の鈍さが影響したことなどから前年同月を下回りました。

③ 新車販売台数…新車販売台数は、前年同月を下回る。



注) 前年同月比

注) 普通乗用車及び小型乗用車は登録車、軽乗用車は届出車の数値を表示。

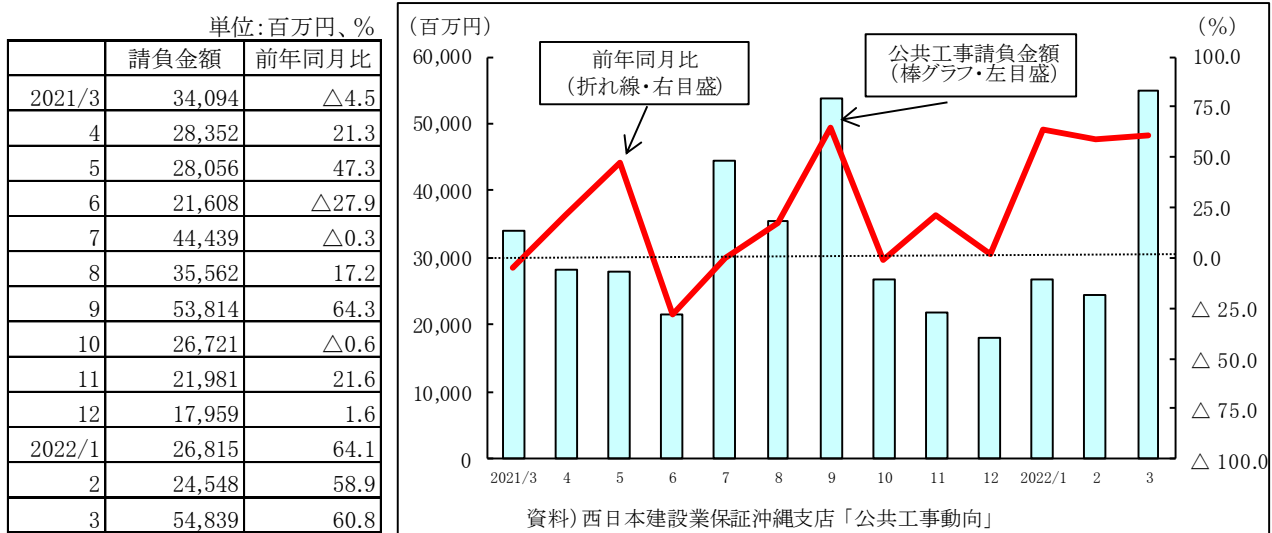
新車販売台数は、全体で4,362台(同 18.2%減)となり、10ヵ月連続で前年同月を下回りました。車種別では、「小型乗用車(同 43.9%増)」はレンタカー需要の増加などにより前年同月を上回ったものの、「普通乗用車(同 21.0%減)」、「軽乗用車(同 37.1%減)」において、半導体不足の影響による納品の遅れが長期化していることなどにより、生産が減少し、前年同月を下回りました。

※普通乗用車及び小型乗用車は登録ベース、軽乗用車は届出ベースの数値を合算。

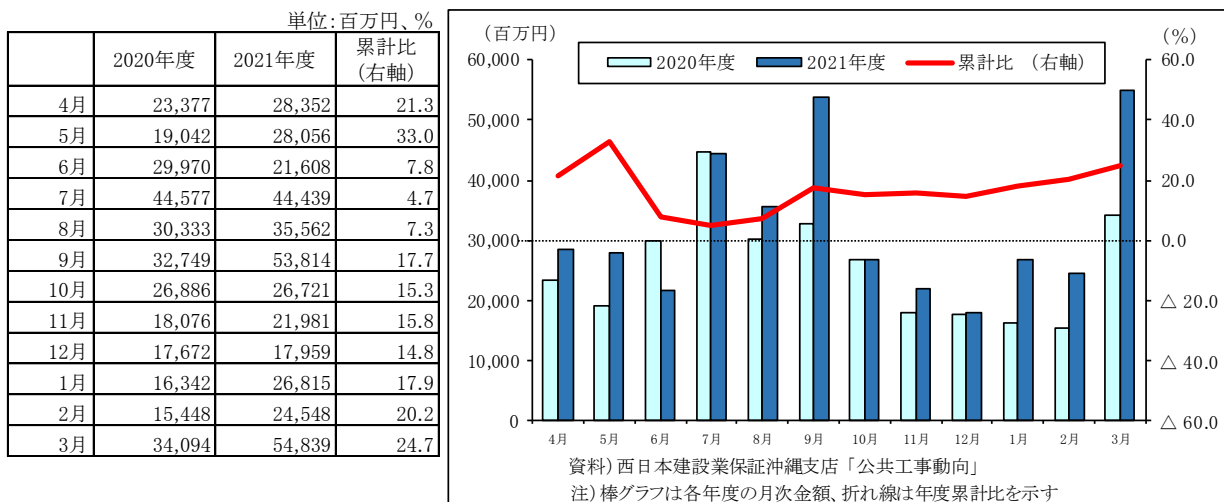


■建設関連： (ふつう)

①公共工事・・・公共工事請負金額は前年同月を上回る。



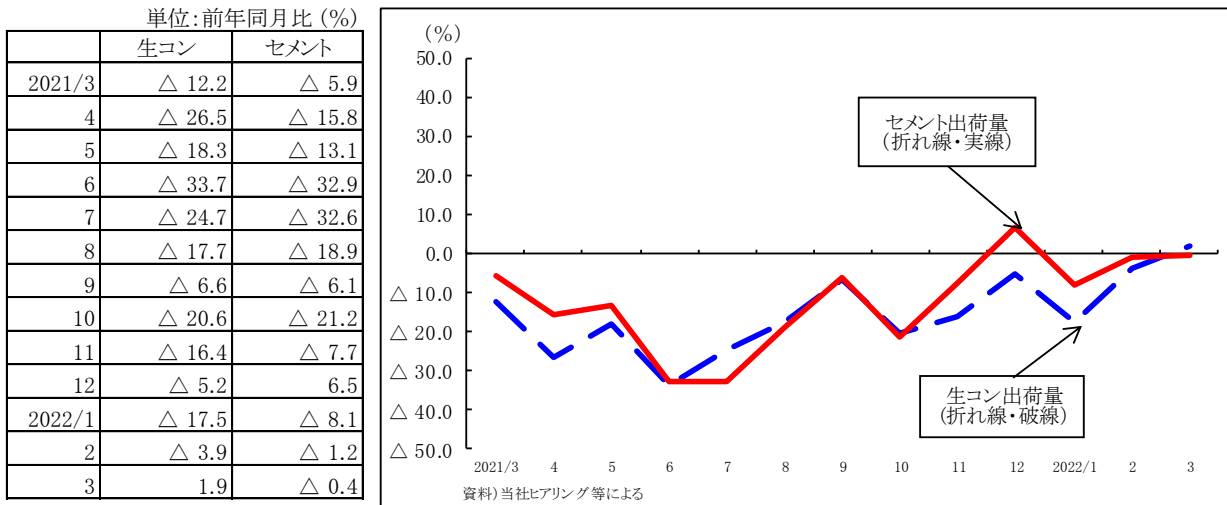
【参考】公共工事（年度累計）・・・公共工事請負金額は前年同期を上回る。



3月の公共工事請負金額は、前年同月比 60.8%増の 548 億 3,900 万円となりました(5ヵ月連続増)。今年度累計値では 24.7%増となっております。

発注者別でみると、「独立行政法人等(同 814.2%増)」、「その他の公共的団体(同 152.7%増)」、「国(同 97.0%増)」、「沖縄県(同 34.7%増)」は前年同月を上回りました。一方、「市町村(同 13.1%減)」は前年同月を下回りました。

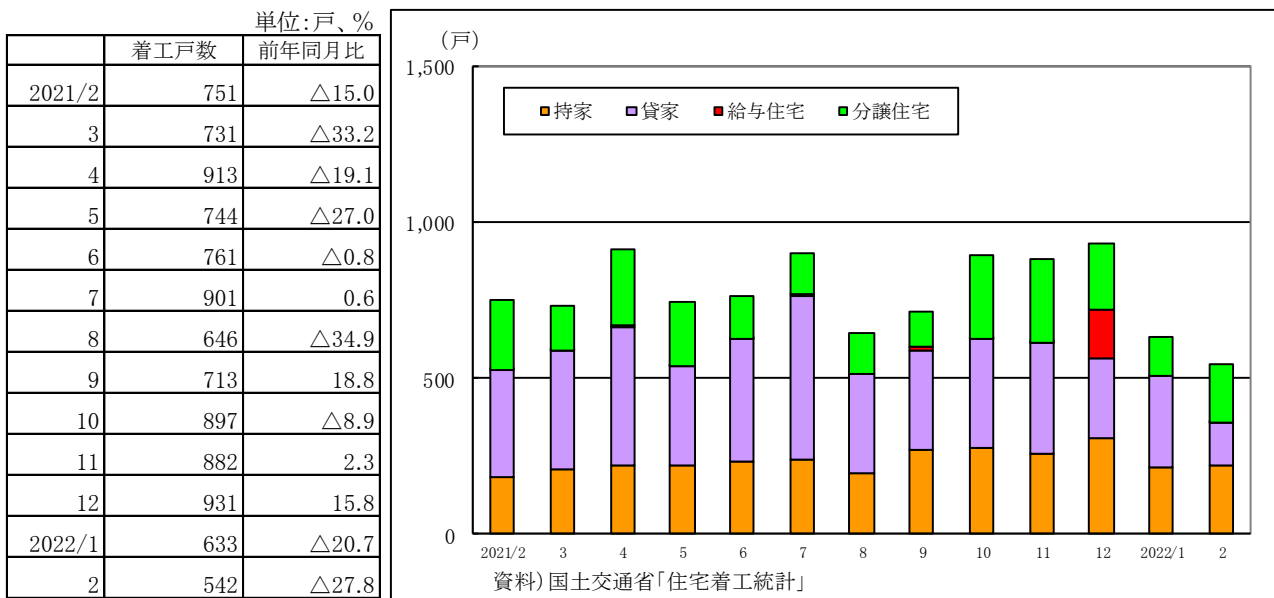
②建設資材・・・生コンは前年同月を上回り、セメントは前年同月を下回る。



(注) セメント出荷量は、速報値につき、確報にて修正される場合がある

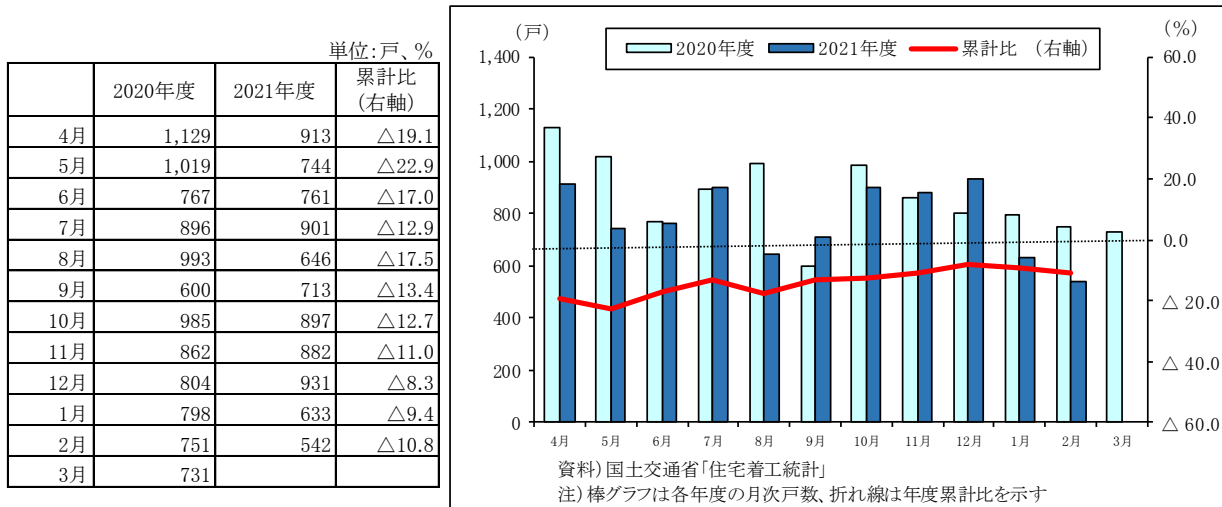
建設資材関連では、生コンの出荷量は1.9%増と26ヵ月ぶりに前年同月を上回りました。内訳をみると、公共工事向けは、石垣での出荷が増加したことなどから前年同月より12.7%上回り、民間工事向けは北部での出荷が減少したことなどから前年同月より3.8%下回りました。セメント出荷量は0.4%減と3ヵ月連続で前年同月を下回りました。

③【参考】住宅投資（2月）・・・着工戸数は前年同月を下回る。



2月の新設住宅着工戸数は、全体で前年同月比 27.8%減の 542 戸となり、2ヵ月連続で前年同月を下回りました。利用別戸数をみると、「貸家(同 60.1%減)」や「給与住宅(同 33.3%減)」、「分譲住宅(同 18.7%減)」は前年同月を下回りました。一方、「持家(同 22.2%増)」は前年同月を上回りました。

【参考】住宅投資（年度累計）・・・着工戸数は前年同期を下回る。



今年度累計値では、10.8%減となっています。



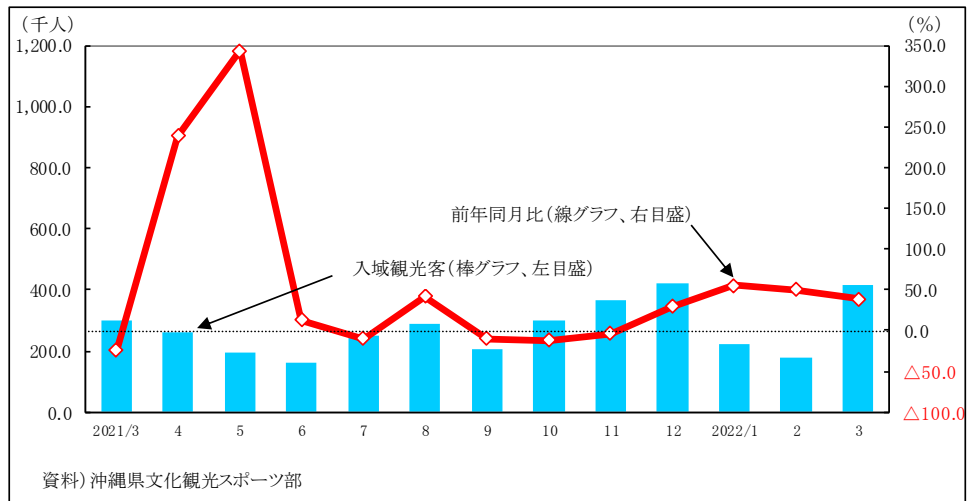
■観光関連： (やや悪い)

①入域観光客数（国内客・外国客の合計）・・・前年同月を上回る。

単位:千人、%

	入域観光客	前年同月比
2021/3	299.2	△ 24.5
4	262.6	239.7
5	195.2	343.6
6	162.9	13.0
7	250.4	△ 9.7
8	288.2	42.1
9	204.9	△ 10.0
10	299.0	△ 12.4
11	368.0	△ 3.4
12	423.5	29.8
2022/1	224.6	56.0
2	179.1	50.8
3	415.7	38.9

※外国客は乗務員等を含む

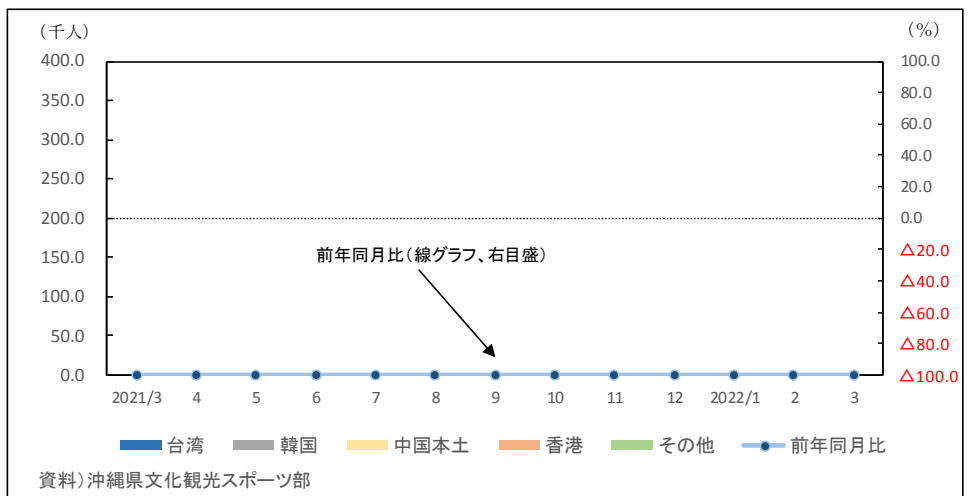


外国客 入域観光客数・・・前年同月同様、皆減。

単位:千人、%

	入域観光客	前年同月比
2021/3	0.0	△ 100.0
4	0.0	△ 100.0
5	0.0	△ 100.0
6	0.0	△ 100.0
7	0.0	△ 100.0
8	0.0	△ 100.0
9	0.0	△ 100.0
10	0.0	△ 100.0
11	0.0	△ 100.0
12	0.0	△ 100.0
2022/1	0.0	△ 100.0
2	0.0	△ 100.0
3	0.0	△ 100.0

※外国客は乗務員等を含む



3月の入域観光客数は、減便規模の縮小などから116,500人多い415,700人(前年同月比38.9%増)となり、4ヵ月連続で前年同月を上回りました。しかし、2019年同月比では468,300人減少(53.0%減)と大きく下回っており、厳しい状況となっています。

外国客入域観光客数は、前年同月同様、皆減となりました。台湾、中国、香港、韓国を含む国や地域から日本への入国制限措置が継続しており、引き続き厳しい状況が続くと予想されます。

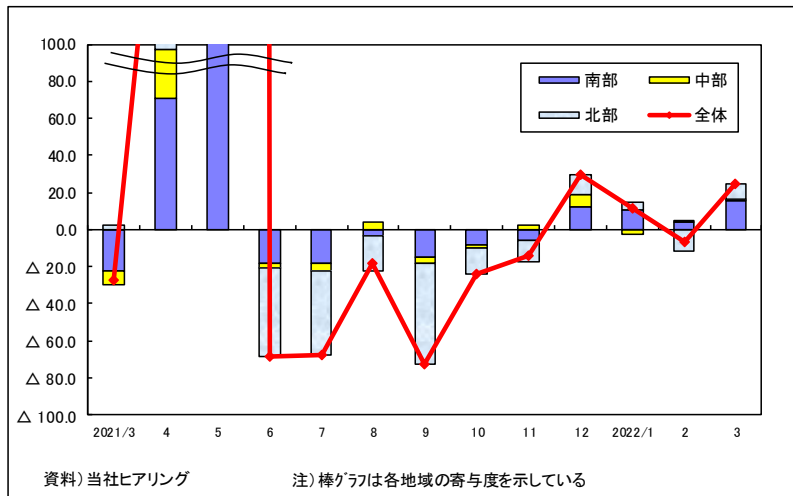
②観光施設入場者数・・・前年同月を上回る。

単位: %

	入場者数(前年同月比)			
	全体	南部	中部	北部
2021/3	△ 27.1	△ 55.1	△ 42.6	5.2
4	247.0	208.7	242.5	271.5
5	17,071.0	22,466.4	5,377.9	25,429.4
6	△ 68.8	△ 70.6	△ 47.7	△ 69.6
7	△ 67.5	△ 65.3	△ 64.9	△ 68.7
8	△ 18.4	△ 9.0	76.8	△ 35.2
9	△ 72.4	△ 56.8	△ 56.9	△ 79.8
10	△ 23.5	△ 28.1	△ 18.4	△ 22.1
11	△ 14.3	△ 16.0	40.0	△ 19.9
12	30.0	37.9	46.7	20.9
2022/1	11.6	42.8	△ 15.5	6.7
2	△ 6.6	23.7	10.0	△ 15.7
3	24.9	60.4	11.3	13.2

※調査対象施設数＝南部6、中部5、北部4施設

※公表後に改定する場合があります最新公表資料が確定値とする。



3月の観光施設入場者数は、全体では24.9%増となり、2ヵ月ぶりに前年同月を上回りました。地域別では、南部の観光施設は60.4%増、中部は11.3%増、北部は13.2%増となりました。

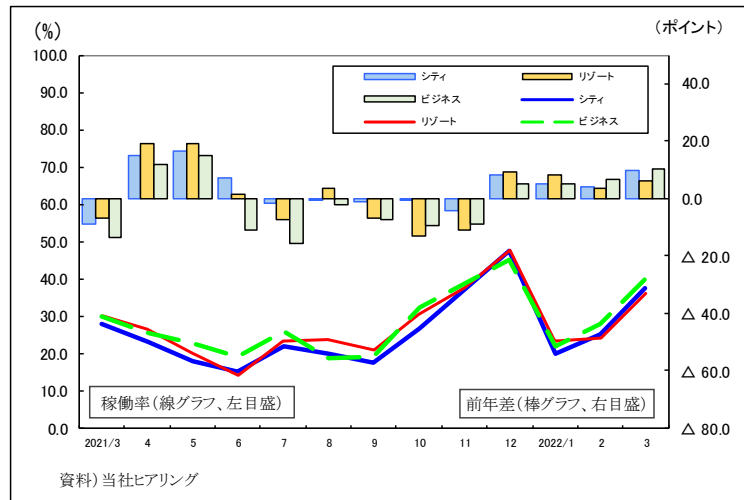
(参考)2019年同月比では、全体で71.4%の減少となります。内訳では南部の観光施設は77.5%減少、中部は69.9%減少、北部は66.4%の減少となっています。

③ ホテル稼働率・・・シティホテル、リゾートホテル、ビジネスホテルすべてにおいて前年同月を上回る。

単位: %、ポイント

	稼働率			前年同月差		
	シティ	リゾート	ビジネス	シティ	リゾート	ビジネス
2021/3	27.8	30.2	29.8	△ 9.2	△ 7.1	△ 13.4
4	23.0	26.4	25.5	14.7	19.3	11.6
5	17.9	20.3	22.7	16.6	18.9	15.1
6	15.3	14.1	19.3	7.2	1.3	△ 11.1
7	22.1	23.2	25.9	△ 1.8	△ 7.3	△ 15.8
8	19.8	23.8	18.7	△ 0.2	3.5	△ 2.0
9	17.6	20.8	19.2	△ 1.2	△ 6.7	△ 7.6
10	26.8	30.4	32.2	△ 0.2	△ 13.3	△ 9.7
11	37.1	37.5	38.7	△ 4.1	△ 10.8	△ 9.1
12	47.3	47.5	45.1	8.4	9.0	5.2
2022/1	20.1	23.2	22.0	4.9	8.3	5.1
2	25.1	24.0	27.9	4.1	3.4	6.7
3	37.3	36.2	40.0	9.5	6.0	10.2

注)シティ8ホテル、リゾート18ホテル、ビジネス4ホテル
※公表後に改定する場合があります最新公表資料が確定値とする。

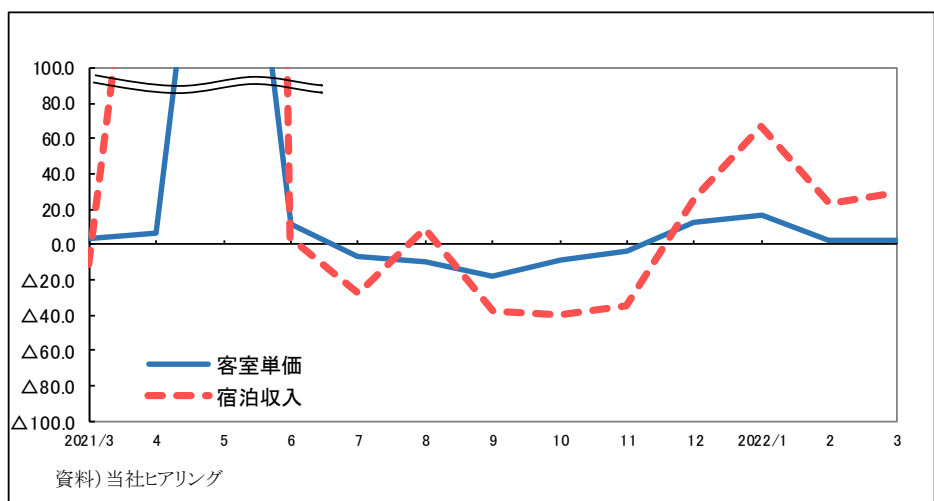


県内ホテル稼働率は、シティホテルは前年同月比 9.5 ポイント増加、リゾートホテルは 6.0 ポイント増加、ビジネスホテルは 10.2 ポイント増加しました。全体として修学旅行などの団体利用は低調に推移したものの、個人旅行やビジネス目的の利用が好調に推移し、前年同月を上回りました。
(参考)2019年同月比では、シティホテルは 43.6 ポイントの減少、リゾートホテルは 41.2 ポイントの減少、ビジネスホテルは 39.9 ポイントの減少となっています。

④ ホテル客室単価・宿泊収入…ホテル客室単価は前年同月を上回り、宿泊収入も上回る。

単位: %

	客室単価	宿泊収入
2021/3	3.4	△11.0
4	6.5	295.2
5	323.9	2,310.5
6	11.2	4.4
7	△6.6	△28.0
8	△9.9	8.9
9	△17.6	△38.1
10	△9.0	△40.1
11	△3.8	△34.5
12	12.5	26.6
2022/1	16.9	67.2
2	2.9	22.9
3	2.3	29.5



※対象施設数:26施設(シティ8、リゾート18)、ビジネスは除く(R3.10にてホテル1施設の集計終了し、R3.11より新たなホテル1施設を集計開始)
※客室単価は26施設の平均値、宿泊収入は各施設の推計値の総額(稼働率及び客室単価より当社推計)
※公表後に改定する場合があります最新公表資料が確定値とする。

ホテル客室単価(シティ&リゾート)は 2.3%増と4か月連続で前年同月を上回り、宿泊収入においても 29.5%増と4か月連続で前年同月を上回りました。
(参考)2019年同月比では、客室単価は 9.5%の減少、客室収入は 51.6%の減少となっています。

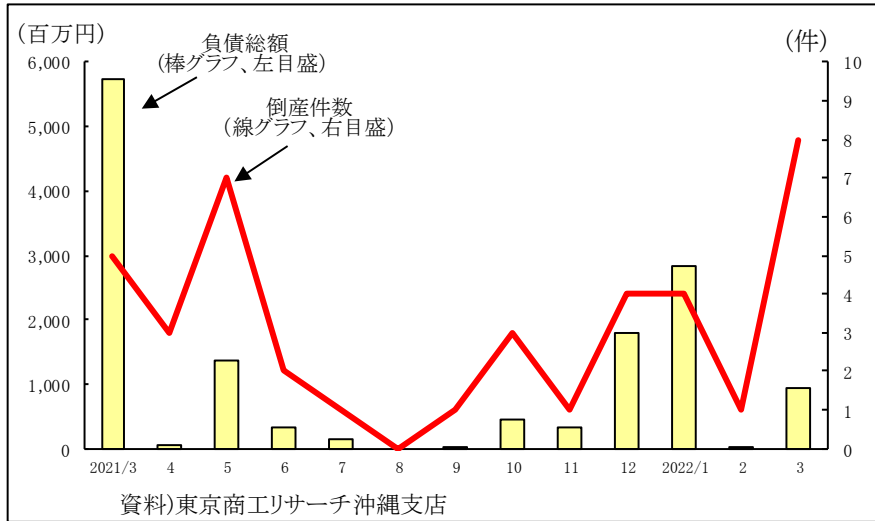


■企業倒産： (やや良い)

企業倒産・・・件数は前年同月を上回り、負債総額は下回る。

単位:百万円、件

	負債総額	倒産件数
2021/3	5,753	5
4	37	3
5	1,359	7
6	337	2
7	154	1
8	0	0
9	26	1
10	434	3
11	320	1
12	1,803	4
2022/1	2,819	4
2	10	1
3	935	8



資料)東京商工リサーチ沖縄支店

注) 負債総額1,000万円以上を集計対象

3月の企業倒産件数は、8件(うち大口倒産は3件)となり、前年同月より60.0%上回りました。

負債総額は9億3,500万円となり、前年同月より83.7%下回りました。

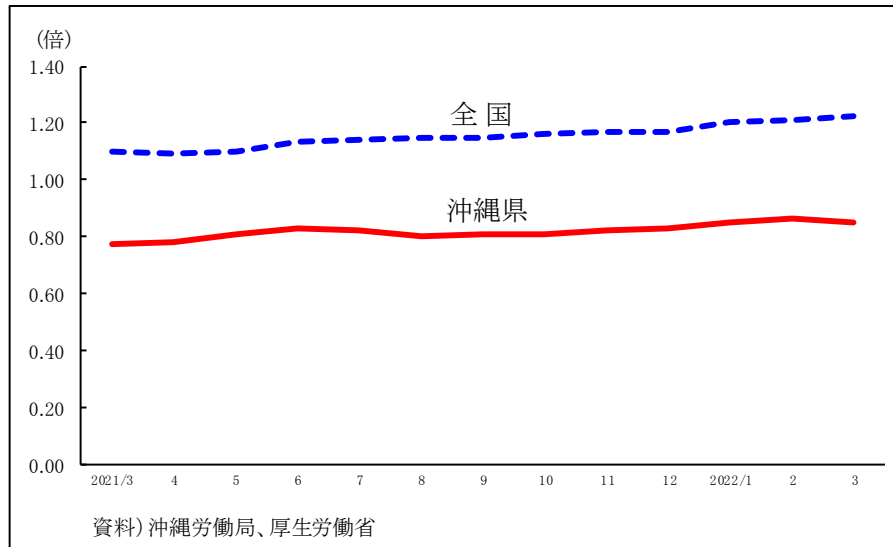


■雇用関連： (やや悪い)

①有効求人倍率・・・沖縄は前月より低下、全国は上昇。

単位:倍

	沖縄県	全国
2021/3	0.77	1.10
4	0.78	1.09
5	0.81	1.10
6	0.83	1.13
7	0.82	1.14
8	0.80	1.15
9	0.81	1.15
10	0.81	1.16
11	0.82	1.17
12	0.83	1.17
2022/1	0.85	1.20
2	0.86	1.21
3	0.85	1.22



資料)沖縄労働局、厚生労働省

注) 季節調整済

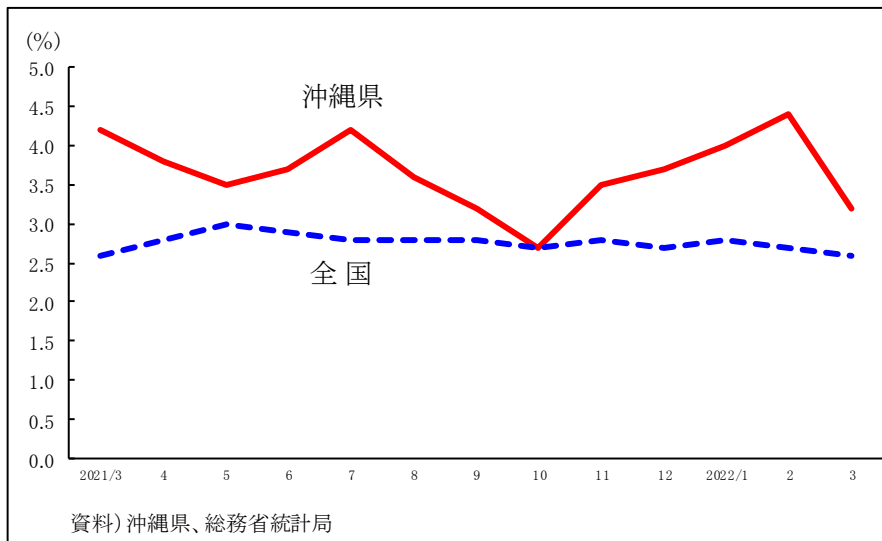
注) 沖縄県の数値は県内を就業地とする「就業地別」求人数を用いて算出

3月の雇用状況は、月間有効求人数(季節調整値)が前月比0.2%増の27,836人に対して、月間有効求職者数(同上)は前月比1.2%増の32,737人となり、有効求人倍率(季節調整値)は0.85倍と、前月より0.01ポイント低下となりました。

②完全失業率・・・沖縄、全国ともに前月より低下。

単位:%		
	沖縄県	全国
2021/3	4.2	2.6
4	3.8	2.8
5	3.5	3.0
6	3.7	2.9
7	4.2	2.8
8	3.6	2.8
9	3.2	2.8
10	2.7	2.7
11	3.5	2.8
12	3.7	2.7
2022/1	4.0	2.8
2	4.4	2.7
3	3.2	2.6

注) 季節調整済



3月の完全失業率(季節調整値) は、3.2%となり前月より1.2ポイント低下しました。